

保護や障がい者へ家具転倒防止器具の購入・設置補助ができないか③地域センターや地区センターに避難所機能を持たすべき。

宮坂良子

高齢者福祉の充実を、介護保険サービスの低下をさせないよう

①介護保険改悪による軽度者へのサービスを低下させないよう国に要請を②60万円まで可能な低所得者への利用料軽減を③高齢者の見守りの充実を④シルバー交番の設置を。

①今は制度設計の段階。今後の議論を注視していく。②市民全体の福祉という観点から検討。③総合的な見守り体制の中で検討。④地域における拠点の設置を検討。

くらし第一の市政に、生活保護は最後の命綱削減許さず

①4人家族の生活保護削減は年27万円に。「生活できない」の声を国に反映させるべき②生保削減影響44にも。就学援助現行維持を③熱中症予防のためにエアコン設置補助を。

①法定受託事務。国で定められた基準で対応。②国・都や近隣の動向で判断したい。③実態を把握しながら対応。

八幡通り・御台橋通りの通学路の安全対策を

八幡通りは死亡事故も起き大変危険①抜本的な安全対策を行うべき。八幡・御台橋通り、通学児童は145人、車119台。②横断歩道の設置を③交通規制などの安全対策を。

①見通しの悪い箇所などを解消するような道路線形を今後検討。②以前に調布警察署から難しいとの回答。③地域の方々等の御理解が必要。現実的には難しい。

西村 あつ子

特別支援教育について

①教員の研修内容。②検討委員会の検討内容と課題。③退級へのシステム構築は。④ハイパーQIUアンケートの実施を。⑤特別支援教育をさらに充実させるべき。

①演習と障がいの特性を学ぶ。②特別支援教室実施の具体的な内容。開始・終了判定システムの構築が課題。③整備していく。④導入を検討。⑤重層的な支援体制の整備検討。

公立保育園の民営化でなく、認可園の増設で待機児解消の手立てを

①和泉保育園は改修計画だった。半年で方針が変わった理由は。②民営化を進め

ることではなく、待機児解消の手立てをすべき。③保護者の不安をどう受け止めているのか。

①民間活力の推進と職員定員適正化の観点から踏まえた。②民営化と並行し待機児対策に取り組む。③民営化にあたって積極的に関与し問題解決に責任を持つ。

子育て支援の充実について

①小規模保育事業は有資格者が半数以上という低い基準であり問題だが考えは。②新制度はパート勤務は短時間認定になる心配があり保育にも支障をきたすが。

①現状より下がることで懸念がある。少しでも高い割合での保育の実施を期待する。②現行制度との関係を整理し利用者に悪影響がでないよう留意していく。

小野寺 克己

介護予防と口腔機能の向上について

①介護予防において口腔機能の向上はどのような意味を持つのか。②口腔機能の向上について、20歳から40歳未満の世代への歯科疾患の予防に向けた普及啓発は。

①生活意欲の向上等介護予防の効果。②市として特段の対策は取っていない。

本紙の内容をCDに録音した「声の市議会だより」をご利用ください

災害対応体制整備としてのデジタルサイネージ(電子看板)

①画像ガイダンス機能掲載のAEDやコミュニケーション支援ボードは防災訓練では使用されるのか。②自動販売機併設デジタルサイネージをどのように評価しているのか。

①AEDは訓練で使用される。コミュニケーションボードは展示を予定。②市の負担がほとんどなく設置できるため有効なものと考える。

公民館の有効利用について

①施設を有効に利用する知恵や工夫が大切だが、どう考えているのか。②パソコン室の改善への対応は話し合うことが大切だが今後の対応と整備計画の予定は。

①施設を有効活用し、フレキシブルに使用できないか検討したい。②十分な話し合いを行い、近々に行うものとして、大規模改修等を行うものの整備計画を今年度中に作成する。

石川 和広

健康増進施策の推進について

①健康増進施策推進のため最重要ポイントは。

②健康増進の「啓発」から「誘導」へマイルール制度は有効な手段だと思ふが。③市長はマイルール制度についてどう考えるか。

①個人が知識を持ち自ら行動することが必要。②誘導の有効性や関係機関との連携を含め検討する。③発想には大いに賛成で、仕組みとして創っていかねばと考える。

成年後見制度の活用に向けた狛江市の取り組みについて

①成年後見制度利用支援の取り組みは②「市長申立て」に限らず「本人・親族等による申立て」も費用助成の対象にすべきでは③成年後見人「体験投票」で気づいた点は何か。

①現在は市長申立てを対象に行っている。②制度利用促進のために検討する。③一定のルールの中での合理的配慮の多様性。

防災対策について

①「災害対策基本法」等の一部を改正する法律の公布を受けて市はどう対策を展開していくのか。②「要支援者名簿」についてはどの範囲まで名簿情報が提供されていくのか。

①都と連携し対応していく。②消防署にも提供、緊急時には市長が認めた組織等に提供する。

亀井 和美

地域防災計画修正について

①現行計画より手厚い内容になっているところは。②西野川四丁目木密地域にスタンドパイプを。③アレルギー食品の備蓄は。④避難所の食事におけるアレルギー対応は。

①女性や災害時要援護者の視点や東日本大震災での教訓や課題②課題整理を行い検討③アルファ化米、低アレルギー米など約千人分④訓練を通じて対応できるようにしたい。

子供たちの安心・安全について

①今夏、子供たちへの熱中症対策②熱中症予防に効果のあるミストシャワーを小中学校に導入を③緊急時個別対応カードの活用方法④3月以降アレルギー対応への取り組み。

①空調機の更新・設置、サンシェードの追加設置等②来夏の対策について考える③不測の事態に迅速かつ適切に対応④シュミレーション講習の実施、エビペン預かり開始等。

高齢者の見守りに

①不十分な定期的見守り体制とは。②民間事業者との連携・協定は。③地域福祉コーディネーターの取り組みは。

④もしもの時に安心、高齢者見守りホルダーの導入を。①配食サービス利用者のみの見守り体制。②今年度末を目途に取り組み。③地域の拠点整備にあわせ、取り組み④総合的な見守り体制整備の一環として取り組む。

佐々木 貴史

安全・安心なまちづくりについて

①災害時におけるペットとの同行避難の取り組みは②都から配布の災害時に消火栓から飲料水が提供できる仮設給水栓の設置状況は③ネット依存、スマホ依存への取り組みは。

①獣医師会と協定締結、ペット同伴の避難訓練等を検討したい②四中、和泉小、西和泉体育館に配備済み。③学校にネット・ケイタイ安全講座や出前講演会を紹介。

市民要望の実現に向けて

①多摩川土手の暗所に街路灯の設置を②水路上にコンクリート板を敷いた通路の安全対策を③空き家等改善策へ条例の検討を④駅前ロータリーの時計を夜間でも見えるように。

①設置の方向で検討。②危険性のある箇所は順次修繕。抜本的な対応は検討。③管理員で対応しており、条例制定は未定だが、国の動向や市内状況等を見ていく。④検討したい。